

先端的異分野共創研究の推進

異分野共創研究の推進

- 学長のリーダーシップの下で先進的かつ世界最高水準の異分野共創研究を推進するために、学術・社会共創機構の下に、「**先端的異分野共創研究推進室**」及び「**異分野共創研究企画・創出委員会**」を設置
- 「室」は公募により、本学のフラッグシップ研究となり得る「**先端的異分野共創研究プロジェクト**」を選定し、育成、予算配分、点検・評価を行う。
- 「委員会」は異分野共創研究のマッチングを行い、室に置くプロジェクトの候補となり得る「**研究ユニット**」の企画・創出、育成、予算配分、点検・評価を行い、有力な研究ユニットに対してはプロジェクトへの応募を促す。

学術・社会共創機構

異分野共創研究 企画・創出委員会

企画・創出

先端的異分野共創研究プロジェクト
の候補となり得る研究ユニット

【研究ユニット】

- 研究シーズを元に異分野共創研究企画・創出委員会がマッチングし、研究ユニットを企画・創出、育成。
- 予算を配分したうえで一定期間異分野共創研究を実施し、先端的プロジェクトとなり得るかを評価し、**有力な研究ユニットに対して先端的プロジェクトへ応募するように促す**

【はばたく次世代異分野共創研究プロジェクト】

- 第一三共「はばたく次世代」応援寄付プログラムの支援を受け、異分野の研究グループが、フィージビリティスタディを行い、新たな研究成果を生み出す

先端的異分野共創 研究推進室

選定

先端的異分野共創研究プロジェクト

- 公募によりプロジェクトを選定し、室会議にて選定
- 期間は3年 5,000千円を上限に研究費を配分
(要件) ・学内研究者をリーダーとし、5名程度で構成
・学内の異なる複数の学系の研究者で構成
・若手・女性・学外・外国人研究者を含むことを推奨

研究ユニット一覧

対象部局	研究ユニット名	代表者
工学研究科・医学系研究科	ヒューマンモニタリングに関する研究	大西 鮎美
海事科学研究科・工学研究科・医学系研究科	力覚伝送技術の活用による看護技術の可視化と最適化	元井 直樹
人文学研究科・経済経営研究所	歴史文化資源の保全活用とデータ共有に向けた基盤研究	吉川 圭太
人文学研究科・国際文化学研究科	『文化交渉学』創出にむけた研究ユニット	梅村 麦生
人間発達環境学研究科・理学研究科	適応的な行動の発現をめぐる学際共創研究	野中 哲士
理学研究科・工学研究科・経営学研究科	生物-人間の機能相互転写から紐解く生物間相互作用とその進化	辻 かおる
計算社会科学センター・経済学研究科・経営学研究科・システム情報学研究科	データ駆動型アプローチによる中小企業支援の構築: 社会科学と計算科学の共創	柴本 昌彦

はばたく次世代異分野共創研究プロジェクト一覧

対象部局	研究ユニット名	代表者
農学研究科・数理・データサイエンスセンター	データサイエンスを活用したアグリバイオイノベーションによる地域創生の実践	上田 修司
人間発達環境学研究科・理学研究科・海事研究科	環境DNA研究の総合化ユニット	源 利文
医学系研究科・農学研究科・工学研究科・国際文化学研究科	医工連携の力により切り拓く新たな自閉症治療学の創出	橘 吉寿
農学研究科・理学研究科・人間発達環境学研究科	ゼニゴケ産業利用(機能性野菜と有用物質生産)のためのプラットフォーム開発	小山 竜平
医学系研究科・海事科学研究科・農学研究科・人間発達環境学研究科	神戸大学プライトエイジング・プロジェクト	園田 悠馬

先端的異分野共創研究プロジェクト一覧

代表者所属部局	プロジェクト名	代表者
人文学研究科	異分野共創研究による雰囲気学の国際展開	久山 雄甫
農学研究科	ゲノム編集によるウェルネスプランツの異分野共創研究	宇野 雄一
ライフ光学イノベーション研究センター	スピ量子技術を用いたアミロイド凝集の超偏極診断	小堀 康博

令和6年度先端的異分野共創研究プロジェクト 異分野共創研究による雰囲気学の国際展開

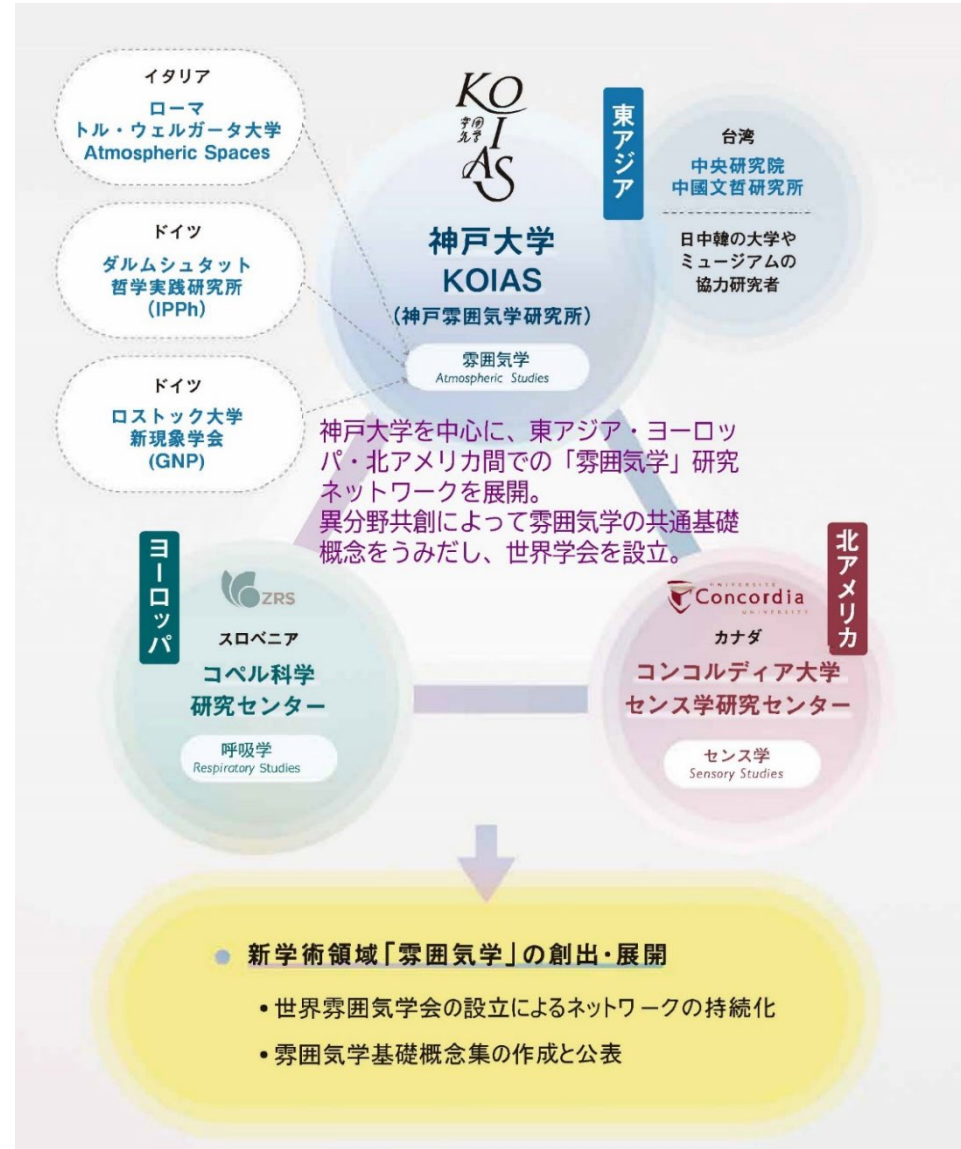
プロジェクトリーダー 人文学研究科 准教授 久山 雄甫

【背景】近代的な「閉じた個」としての人間観の限界。社会のDX、VRやメタバースなどバーチャルな共同性の出現、感染症による物理的共生の限定などといった近年の社会的激変。

【組織】世界初の雰囲気学研究所であるKOIAS (Kobe Institute for Atmospheric Studies) を、人文学研究科若手研究者を中心に2022年に設立。工学研究科・大学教育推進機構・他大学のメンバーも参画する異分野共創プラットフォームとして整備。

【国際連携】イタリア、ドイツ、スロベニア、カナダ、台湾の関連研究機関と提携（右図参照）。

【目標】哲学、歴史学、文学、芸術学、心理学、建築学、メディア学などによる国際共同研究により、分野横断・文化横断的な新学術領域「雰囲気学」を創出・展開。具体的には、世界雰囲気学会の設立（国際学術誌の創刊）および雰囲気学基礎概念集の作成・公表を通じて、神戸大学KOIASを次世代の「雰囲気学」の国際中心拠点に。

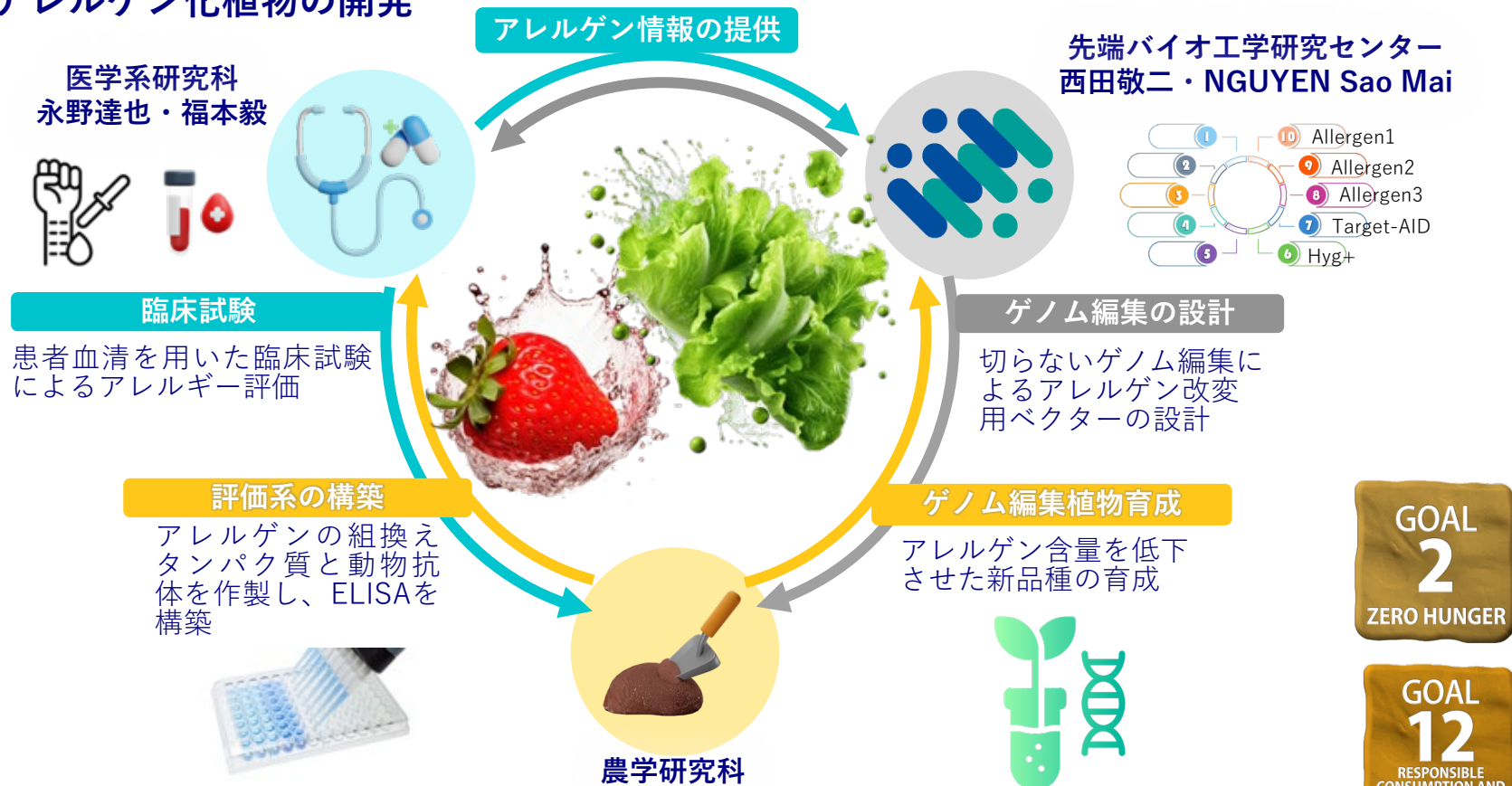


令和6年度先端的異分野共創研究プロジェクト ゲノム編集によるウェルネスプランツの異分野共創研究

プロジェクトリーダー 農学研究科 教授 宇野雄一

本研究では、農学・医学・先端バイオ工学の力をかけ合わせ、人々の暮らしをより豊かにする「ウェルネスプランツ」を生み出していきます。具体的には、ゲノム編集という最先端の技術を活用し、イチゴやレタスを低アレルゲン化する研究を進めています。イチゴやレタスの新品種を作り出すこと中間目標に設定し、植物全般に広く応用できるアレルギーの危険度を調べるための仕組みを作ることを目的としています。そのほかにも、体にうれしい機能性成分を高めたり、香りをより楽しめるよう改良したりする取り組みを行っています。

■低アレルゲン化植物の開発



GOAL
2
ZERO HUNGER

GOAL
12
RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION

■他の形質（機能性・香りなど）の改良、他の植物種への展開

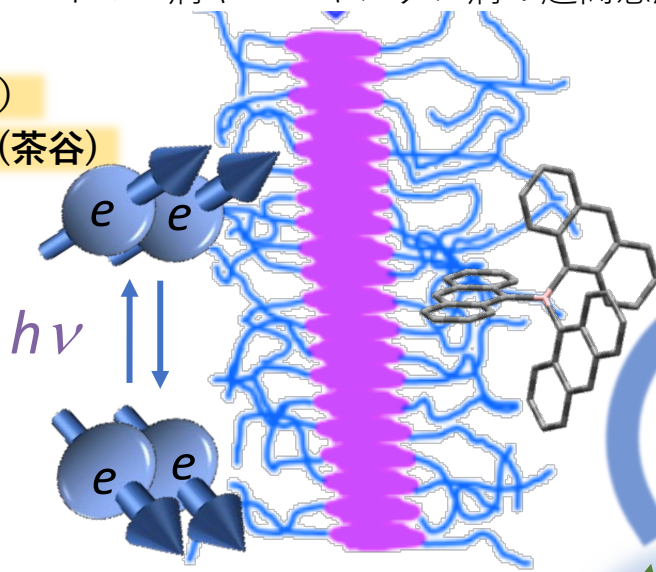
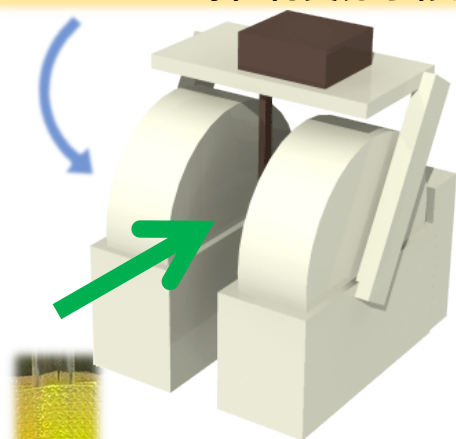
令和7年度先端的異分野共創研究プロジェクト スピン量子技術を用いたアミロイド凝集の超偏極診断

プロジェクトリーダー ライフ光学イノベーション研究センター教授 小堀康博

本研究では、ライフ光学イノベーション研究センター・理学研究科・人間発達環境学研究科・医学系研究科の力をかけ合わせ、プローブ分子を開発し、脳神経疾患タンパク質の超高速水和運動に応答した多重量子ビットが与える超偏極磁化をMRI法で観測し、同時にプローブ蛍光の磁気変調を調べる。脳の神経伝達物質の異常凝集が導くアルツハイマー病やパーキンソン病の超高感度量子診断技術確立し、MRI超高感度化を目指します。

プローブ分子合成化学 (松原)

アミロイド毒性物質分子修飾(茶谷)



超偏極水

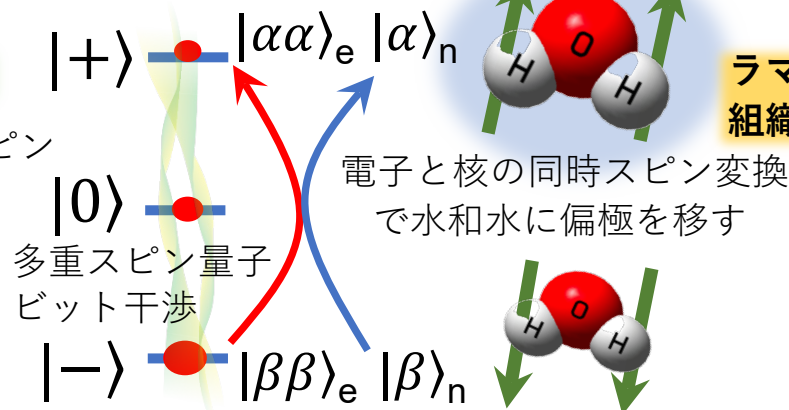
光MRI開発と量子計測
(岐阜大兵藤)

PET/MRIアミロイド造影
(村上・野上・祖父江)と連携

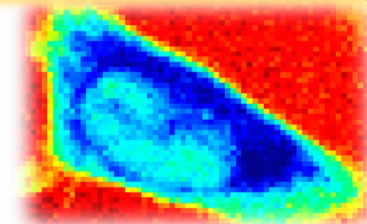
電子スピン量子操作

超高速運動に
応答する電子スピン
の量子干渉とスピンの変換

光検出磁気共鳴(ODMR)
による量子コヒーレンス
計測(小堀)



ラマンイメージングによる
組織の水和運動解析(佐藤)



デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク推進機構の推進

デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク推進機構

「異分野共創研究教育グローバル拠点」の経営成長戦略モデル

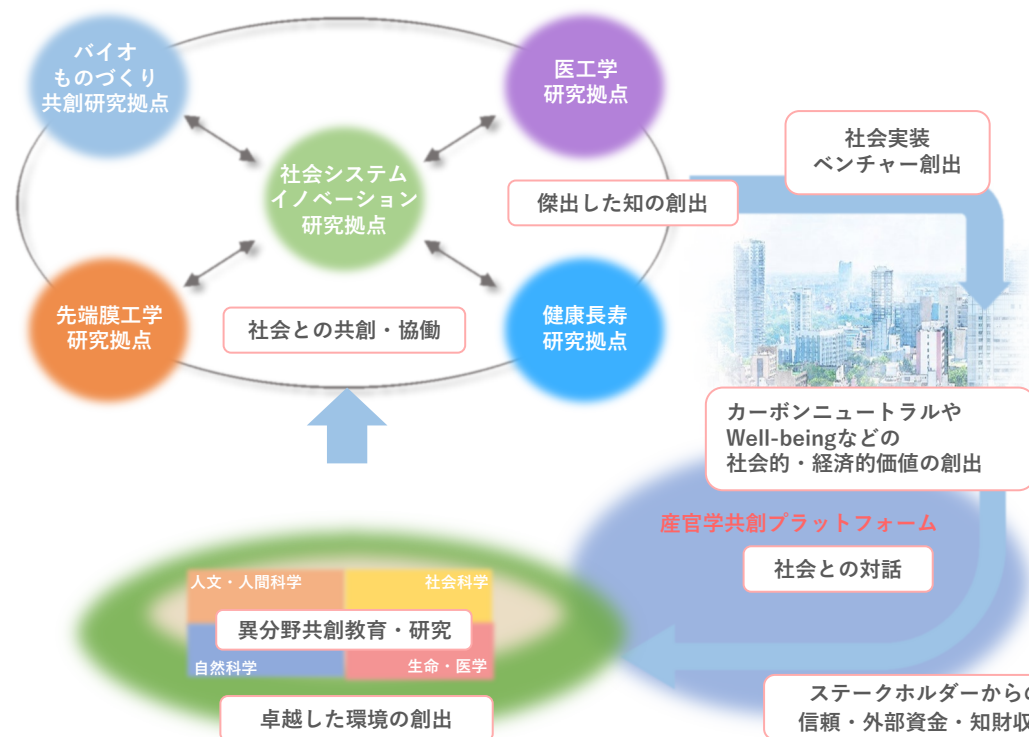


- 大学と社会との間で「知」「人材」「資金」が好循環する経営成長戦略モデルを確立し、「異分野共創研究教育グローバル拠点」として持続的な事業成長を実現するため、令和4年10月に卓越した5つの重点研究領域を拠点とする「デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク(DBLR)」を開設。
- DBLRを異分野共創研究教育グローバル拠点として自走させるため、学内における恒常的な組織として、令和5年10月に「デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク推進機構」を設置。
- 拠点間の強固な連携を図り、神戸医療産業都市に参画する企業・研究機関などと共創しながら、カーボンニュートラルやWell-beingなどの社会的課題の解決を目指す。
- 令和6年度より「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)」をDBLR推進機構を中心に展開中。

デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク(DBLR)

全学の叡智を結集した産官学が集まる異分野共創の拠点群でイノベーションを牽引

DBLRの各拠点が研究成果の社会実装を目指すために整備される新たなインキュベーション施設



医工学研究拠点

先端医療機器の研究開発拠点として、国際がん医療・研究センター（ポートアイランド地区）隣接地に7階建ての「医工融合型産業創出集合知（知）」を整備。



バイオものづくり共創研究拠点

DBLRの中核となる先端バイオ工学の研究拠点として統合研究拠点（ポートアイランド地区）に3階建て施設を整備。



先端膜工学研究拠点

先端膜工学の研究拠点と産官学連携によるオープンイノベーションやスタートアップ創出の拠点として、六甲台地区に「バイオメディカルメンブレン研究・オープンイノベーション拠点」を整備。



デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク推進機構 ～バイオものづくり共創研究拠点～

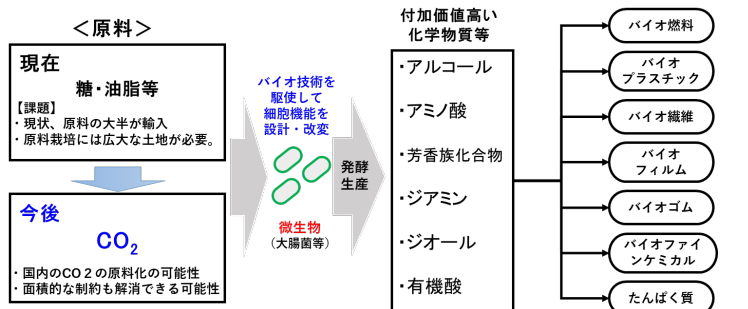


「バイオものづくりによるGX産業革命」

- 石油依存からの脱却
- 世界のエネルギー供給構造の変革
- 超省エネ（常温・常圧）プロセスの実現

従来：石油を原料とした
高温・高圧プロセス

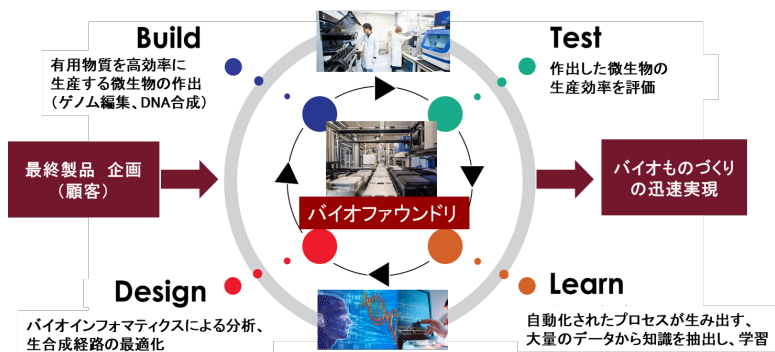
バイオものづくり



→ 化学合成には向かない複雑で高機能な物質の生産も可能。
素材、繊維、燃料、食品など適応可能な分野は広い。

バイオフィアウンドリ

微生物によるものづくりに必要な技術と知識、装置群等を集積し、オートメーション化した、統合型プラットフォームを提供する



異分野共創の推進と波及効果

- 人材育成の強化・教育への還元
- 生命科学系分野への直接的な波及効果
- バイオ以外の研究分野への間接的な波及効果

DX情報統括本部・数理DSセンターとの連携

DX・情報統括本部

- DX企画コンサルティング部門
- パーソナルデータ保護・利活用推進室
- 高度DX人材育成室

数理・データサイエンスセンター

- プライバシー保護・AIデータ解析推進室
- 数理データサイエンス・AI教育
- 神戸データサイエンス操練所

学術研究推進室 (URA)

イノベーション・エコシステムの形成

- ベンチャーへの技術導出
- 企業との連携による社会実装

研究力の強化

- データ駆動型/AI駆動型研究の推進
- オープンサイエンスの推進

バイオものづくり
共創研究拠点

医・工・農・理・情報連携



【デジタル標準化, 全学への橋渡し】

先端バイオ工学研究センター

合成バイオ基盤部門

スマート育種・バイオ生産部門

バイオ×デジタル推進室

バイオエコノミー部門

先端分析評価・プロセス部門

バイオ×デジタル基盤の開発

Build領域 / Test領域

工学系(機械, ロボット等)の部局, 企業・他機関との連携

Design領域 / Learn領域

情報系(計算, 学習, AI等)の部局, 企業・他機関との連携

工学研究科

科学技術イノベーション研究科

システム情報学研究科

連携

医工学研究拠点

健康長寿研究拠点

先端膜工学研究拠点

社会システムイノベーション研究拠点

デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク推進機構 ～医工学研究拠点～



- ・ 革新的医療機器開発の加速
- ・ 医学と工学のシームレスな融合の実現

文科省
・ 組織整備

厚労省
・ 拠点事業

経産省
・ Jイノベ

内閣府
・ 地方創生

支援 ↓ Jイノベ J-Innovation HUB

本拠点では、未来医工学研究開発センターおよび医学部附属病院国際がん医療・研究センター (ICRC) が核となり、医学部附属病院 (本院)、医学系研究科医療創成工学専攻や関連研究科と連携しながら、3つの場を提供することで、革新的医療機器の開発及び人材輩出の実現を目指した『医療機器開発プラットフォーム』を構築する。

- 臨床現場**
 臨床現場の観察や医療従事者のヒアリングからニーズを探索するに加え、臨床評価を実施するための場を提供
- 初期開発の場**
 臨床現場ニーズを基に医療機器のコンセプトを創造し、試作・性能評価・非臨床試験を実施するための場を提供
- 実践教育の場**
 医学系研究科や工学研究科、医学部附属病院と連携し、革新的な医療機器を創出できる人材を育成するための大学院教育や社会人アップスキリング教育に実践的教育を実施するための場を提供



神戸未来医療構想

- 企業群**
 - ・ 共同研究・開発
 - ・ 医療産業都市進出、拠点入居
- 神戸市**
 - ・ 神戸医療産業都市
 - ・ 支援
 - ・ 企業誘致
- 兵庫県**
 - ・ 支援
 - ・ 企業誘致

教育実施 開発主導・協力

学部・研究科

医学部・医学系研究科 関連学部・研究科
 医療創成工学科 工学研究科
 医療創成工学専攻

開発主導・協力 開発・教育支援

医学部附属病院

各診療科・部署
 医工探索創成センター
 臨床研究推進センター

- ・ 革新的医療機器の初期開発を創造的開発人材の実践教育に活用
- ・ 臨床現場における産学官医の総合知による医療機器開発の実施
- ・ 健康長寿研究拠点、バイオものづくり研究拠点、先端膜工学研究拠点、社会システムイノベーションセンターと連携し、異分野融合による革新的医療機器開発を推進

先端膜工学研究拠点

我が国唯一の総合的膜工学拠点



教育・研究

- ① 膜工学専門教育の企画と実施
- ② 膜工学研究の推進

産学連携

- ① 産学連携の推進
- ② 派遣型教育
- ③ リカレント教育

国際交流

- ① 海外膜センターとの交流
 - ② 若手研究者の派遣
 - ③ 国際共同研究の推進
- 海外膜センター16機関と連携

論文発表実績 (出典: Web of Science)

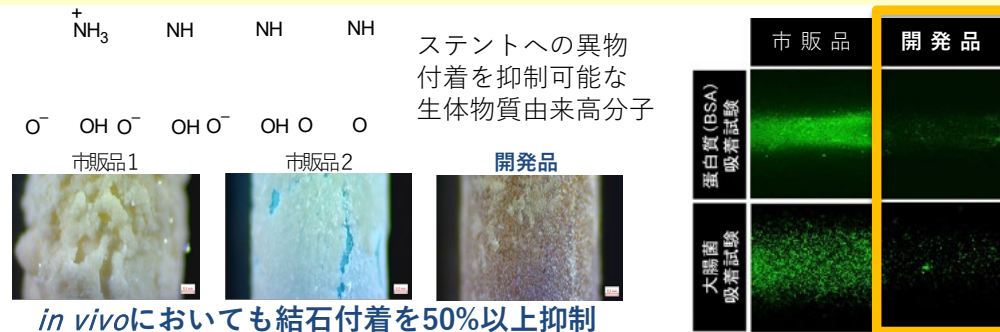
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
学術誌掲載論文	105	112	108	115	125	126
うち国際共著論文 (学術論文中の割合)	35 (33.3%)	42 (37.5%)	56 (51.9%)	61 (53.0%)	65 (52.0%)	66 (52.4%)

社会貢献 (実用化実績)

- インラインエアフィルタ (2種類) (株)コガネイ クリーンルーム用空気中油分の除去
- CO₂選択透過膜 (促進輸送膜) (株)ルネッサンス・エナジー・リサーチ バイオガス中のCO₂分離
- PVDF製MF膜 (株)神鋼環境ソリューション/神戸市 PVDF膜の洗浄手法を考慮した膜ろ過設備

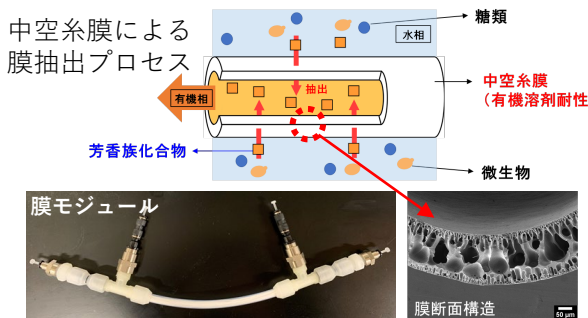
Collaboration Research Activities

異物低付着性新規尿管ステントの開発 (未来医工学研究開発センターと連携)



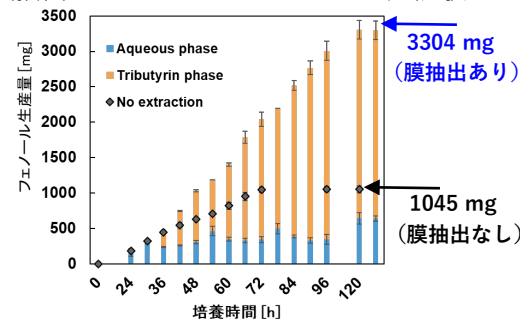
膜抽出技術を利用したバイオフィェノール生産

(先端バイオ工学研究センター、科学技術イノベーション研究科と連携)



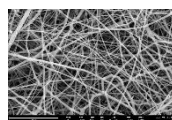
- 連続的・コンパクトな設計による効率的な抽出
- 抽出対象に応じた「膜構造」や「抽出プロセス」の設計

膜抽出によるバイオフィェノール生産試験



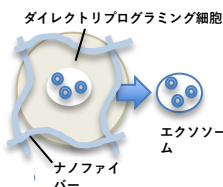
新規成分を含むエクソソームの生産技術の開発

ナノファイバーへの細胞固定化



固定化細胞の利用

1. ダイレクトリプログラミングした細胞による新規エクソソームの生産
2. 固定化微生物による環境や土壌の修復



異分野共創研究により未来社会に向けた新たな課題を解決

異分野共創による健康長寿・ウェルビーイング実現

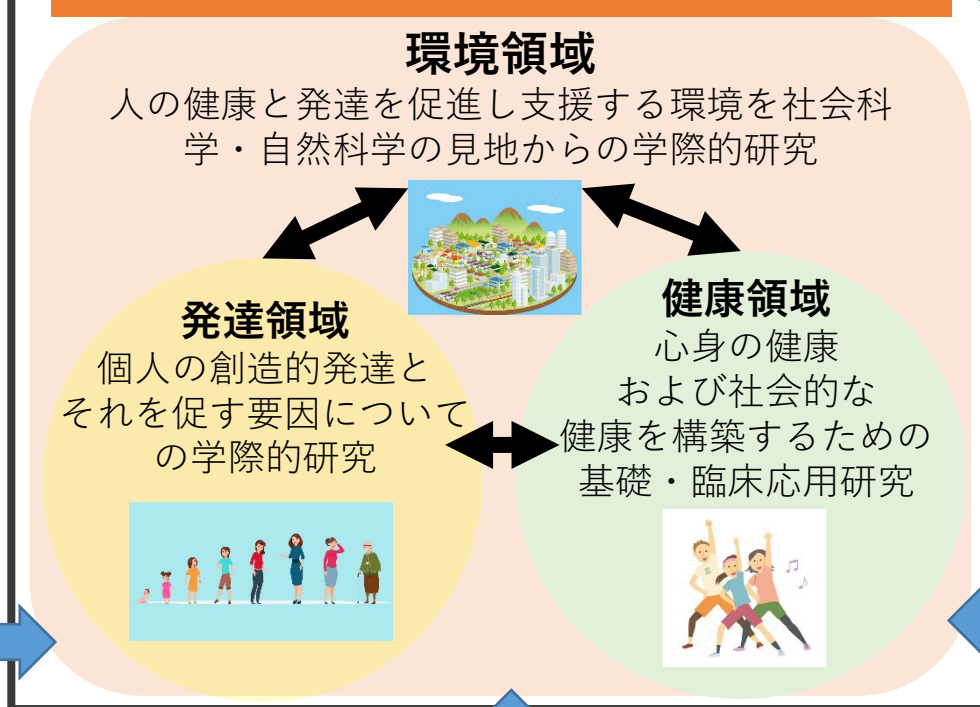
ウェルビーイングの視点から、心身および社会的に豊かな人生を目指すため、大学ならではの広い視野と総合知をもとに、学際的研究を遂行し、社会全体のウェルビーイングを高める「**ウェルビーイング異分野共創モデル**」を発信し持続可能な社会をリードする世界トップレベルの健康長寿・ウェルビーイング推進拠点を目指す。

産官学連携

- ・オムロンヘルスケア
- ・Moff社・エーザイ
- ・江崎グリコ
- ・住友生命保険相互会社
- ・Cogstate社
- ・C₂N社
- ・国立長寿医療研究センター
- ・医薬基盤・健康・栄養研究所

健康長寿研究拠点

ウェルビーイング先端研究センター ウェルビーイング推進本部



県内連携

- ・兵庫県
- ・神戸市、丹波市
三田市 ほか
- ・神戸新聞社
- ・サンテレビジョン
- ・神戸市医師会
- ・神戸市薬剤師会
- ・武庫川女子大学
- ・兵庫県立大学
- ・神戸常盤大学

学内センター

- ・アクティブエイジング研究センター
(人間発達環境学研究科)
- ・バイオリソースセンター
(医学部附属病院)
- ・こころの疾患研究センター
(医学部附属病院)
- ・デジタルイノベーション推進センター
(医学系研究科)
- ・食の安全・安心科学センター
(農学研究科)
- ・認知症予防推進センター
(医学系研究科)
- ・アジア健康科学
フロンティアセンター
(医学系研究科)

研究連携・支援

教育連携・支援

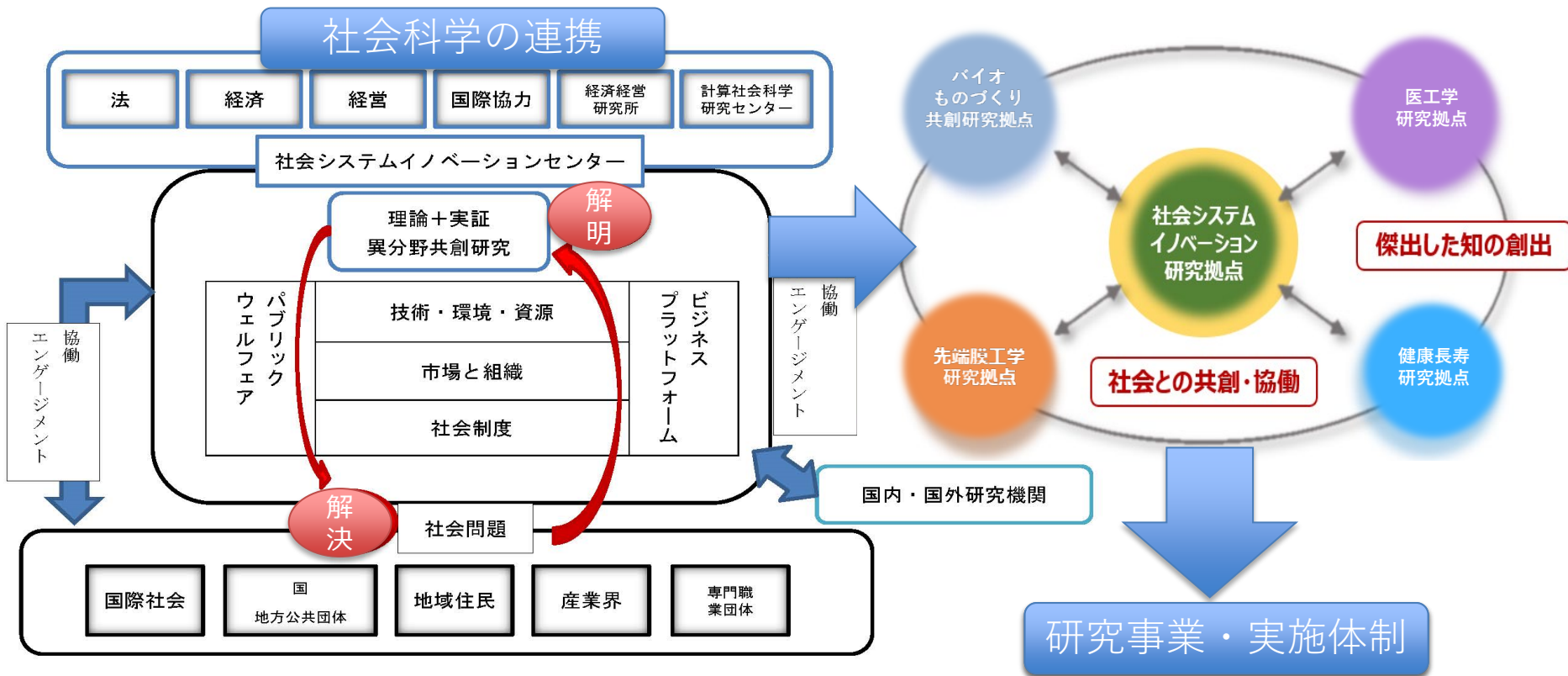
学内関係部局

- 人間発達環境学研究科
- 医学系研究科・医学部附属病院
- 農学研究科・システム情報学研究科

～社会システムイノベーション研究拠点～

- 社会システムイノベーションセンター: 神戸大学の誇る社会科学の知を結集したソリューションの提供

- デジタルバイオ・ライフサイエンス・リサーチパークと社会的ニーズを結ぶハブ機能



■ パブリックウェルフェア部門の中核事業

- ・ 少子高齢化時代の社会経済に関する学際的研究 ~労働・健康・地域の問題に注目して
- ・ 持続的開発と減災復興協力のモデル構築事業
- ・ 加点式健診事業（よいとこ健診）による地域活性化事業

■ ビジネスプラットフォーム部門の中核事業

- ・ 会計研究の多角的研究の推進事業
- ・ 地域の持続可能な発展と地域金融の役割事業
- ・ デジタル化時代の比較法制研究プロジェクト

国の研究開発プロジェクトへの参画

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)

事業の概要～4つの取組を中心にグローバルイノベーションキャンパスへの変革を目指す

卓越性 1.世界に伍する「バイオものづくり共創研究拠点」形成



理学・農学・工学・システム情報学
医学・保健学・社会科学系研究者

先端バイオ工学研究センター



バイオものづくり共創研究拠点

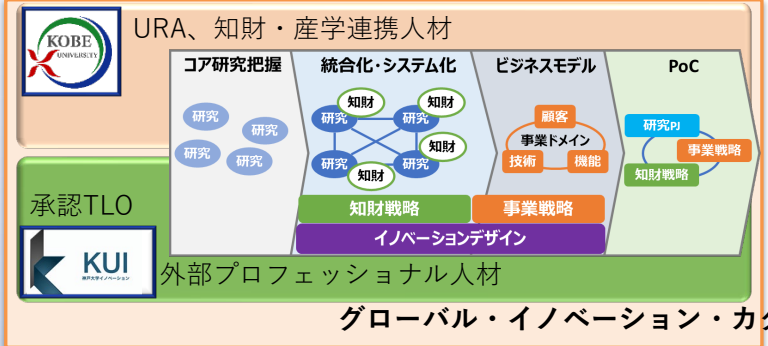
異分野共創研究領域
「Engineering Biology」構築

連携機関
広島大学、大阪大学、理化学研究所、シンガポール国立大学、イリノイ大学、テキサス大学、ツールーズ大学、マンチェスター大学

卓越性 2.DX・自動化研究環境の全学展開



3.グローバル・イノベーション創出機能の強化



地域貢献 4.地域産業のグローバル展開

神戸医療産業都市
360社・団体が集積する
日本最大級のバイオメディカルクラスター



神戸大学グローバル・イノベーション・キャンパスへ変革

共創の場形成支援プログラム【未来共創分野】 ナノコーティングが再生する環境未来都市共創拠点



神戸市が目指すべきは、「CO₂排出の抑制と、既存のインフラの長寿命化による予防保全型維持管理へのグレードアップ」である。本拠点では、「Re:Paint KOBE—環境未来都市構想」を地域未来社会ビジョンとして提唱する。ナノコーティング技術を駆使した機能性塗料の開発により、都市空間の持続と発展、港湾GX化、地域産業の活性化、人口減少社会への対応といった、複数の課題に横断的に貢献する。

将来ありたい神戸市の姿

「海と山が育むグローバル貢献都市」

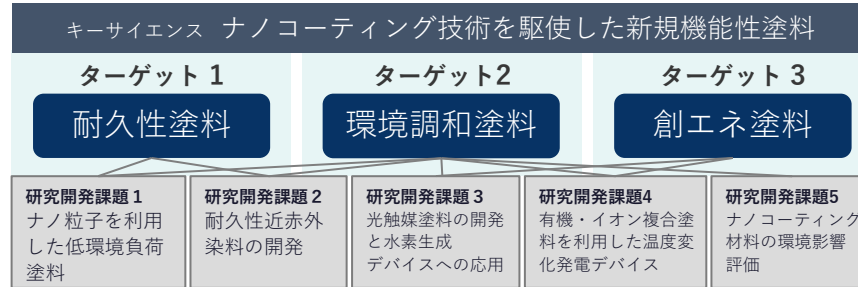
- 将来にわたって持続可能な都市空間・インフラ
- 豊かな自然を活かし、新たな価値の創造
- 魅力的な仕事の創出と産学連携による経済成長
- 人口減少時代に向き合い、くらしの質を高める

Re:Paint
-Regenerate
-Realize

スクラップアンドビルド型から、「ストック型」への転換

神戸市の課題

- ①都市空間の持続と発展
 - 震災から30年
 - インフラ一斉老朽化のリスク
 - 紫外線や潮風の過酷な影響
 - 建物が密集する都市構造
- ②港湾GX化
 - CO₂排出量の6割を占める
- ③地域産業の活性化
 - 時代の変化に伴う転換
 - 競争力強化に向けたスタートアップへの投資
- ④人口減少社会への対応
 - 人材不足
 - 新しいテクノロジー活用の必要性



強靱な都市基盤を実現し、環境と経済が調和し、新しい価値を創造できる環境未来社会を築く

レジリエントな都市空間

エネルギー自立型都市

地域未来社会ビジョン
環境未来都市構想

環境と調和する新産業

幹事機関
神戸市、川崎重工業(株)
参画機関
兵庫県立大学、産業技術総合研究所
阪神国際港湾(株)、新明和工業(株)、
(株)ダイセル、(株)竹中工務店、
(株)大阪チタニウムテクノロジーズ、
新産業創造研究機構
、(株)三井住友銀行、神戸商工会議所、
住友理工(株)、山陽色素(株)、KUI



デジタル・リサーチホスピタル X データビジネスプラットフォーム

- AI
- デジタル
- ロボット

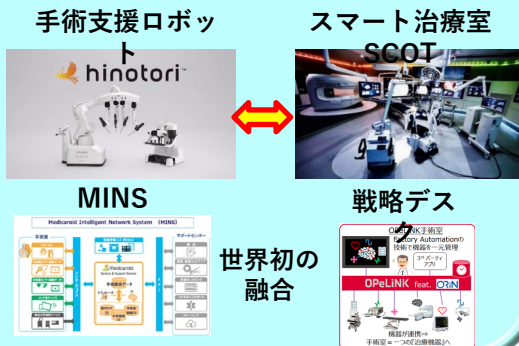
- ・スマート治療室SCOTで開発してきた**医療データや医療機器データの統合技術の融合**
- ・**デジタルリサーチホスピタルにデータビジネスプラットフォームを整備し、新たな領域の医療機器開発を推進**
- ・**5G/6G通信技術による遠隔手術システムの開発と社会実装、開発基盤となる医療機器開発プラットフォームの構築**

医師情報のデジタル化×患者情報のデジタル化による手術DXの実現

医師の操作情報を持つhinotoriのMINSとスマート治療室で得られる患者・患部の正確なデジタル生体情報をリンクさせることで、**世界初の手術室DXを実現**

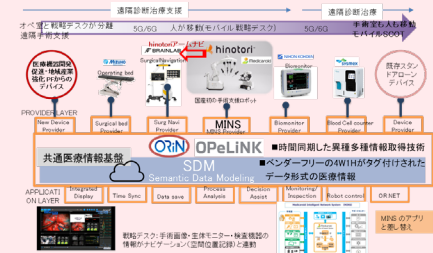
正確な手術情報がリンク、医師操作と患者情報を統合した真の手術ナビゲーションを実現し、低リスクで高効果な手術を支援するシステムを提供

自動手術や自動麻酔を目指したAI技術開発



シームレスなデジタル医療サイクルの実現

SCOT (手術室) からICU、病棟、そして外来、救急までを情報途絶のなくリンクする**データビジネスプラットフォーム**を構築

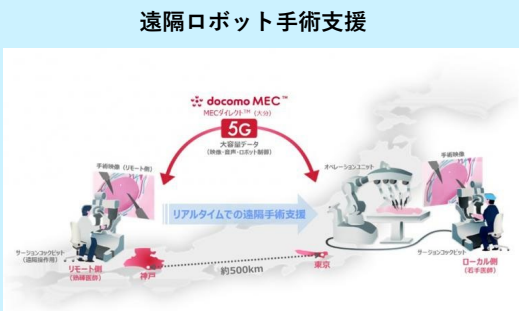


SCOTを核としたデータビジネスPFで実現される機器の情報ネットワーク

5G通信技術による遠隔手術システムの開発

5Gを活用した遠隔ロボット手術支援ソリューションの実用化

臨床利用を想定した技術・機能の開発、遠隔手術指導の実施、ロボット手術トレーニングなどの検証



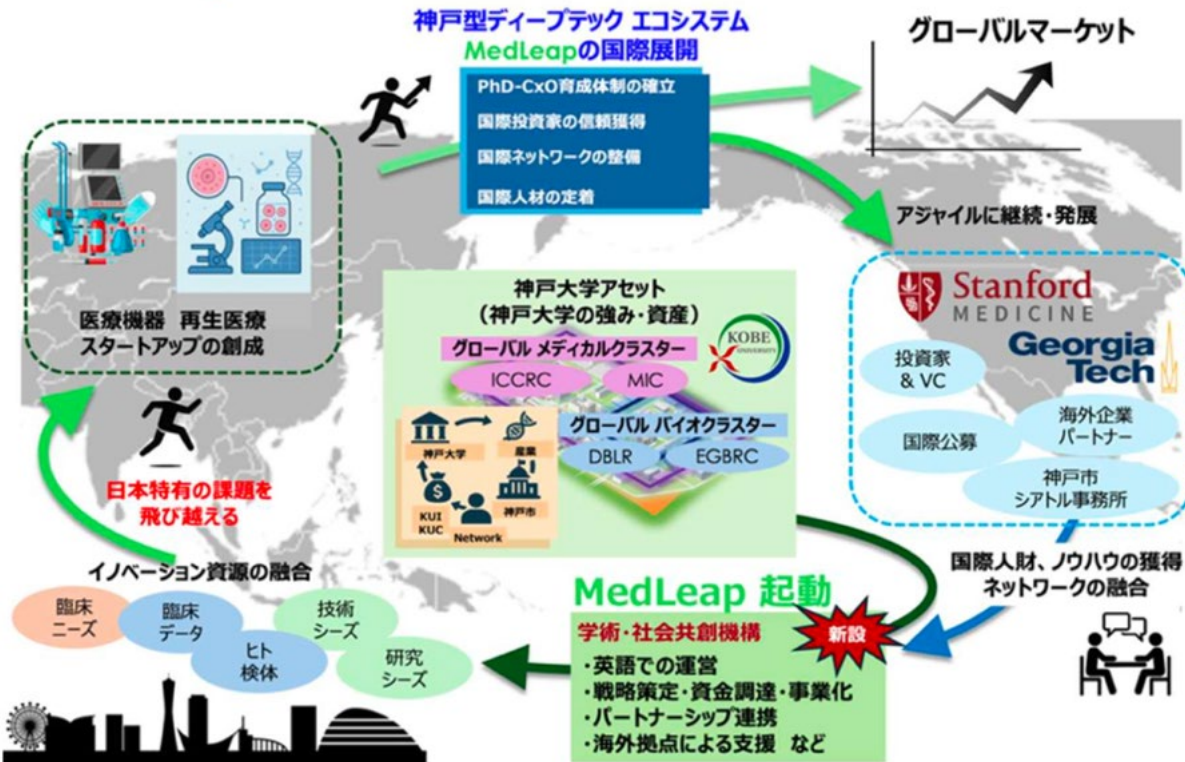
医療機器開発促進・地域産業強化プラットフォーム

医学研究科・医学部の**医療機器を創る医療創成工学専攻・学科**を核

神戸市外の企業・ベンチャーの誘致。支援体制をより強化し、地域の産業振興および雇用創出につながる、**医療機器開発クラスター形成**を推進。



MedLeap : 世界トップクラスの医療ディープテック エコシステム拠点創出へ



神戸大学主導の「MedLeap」は、医療機器・再生医療のディープテック創出を加速する戦略プラットフォームである。神戸未来医療構想、DBLR、J-PEAKSを基盤に、GIカタパルト傘下で世界的人材・臨床/研究シーズ・産業ネットワークを統合。統括の下、集中的戦略調整と機動的分散実行を両立し、技術・知財・資金・事業化を一体で推進。国際公募フェローにPI相当職・独立ラボと専門家支援を提供。ニーズ-シーズ連結から試作・実証・資金調達・チーム形成までを一貫支援し、成果を制度化。神戸・ポートアイランドを国際連携型の医療ディープテック拠点へ。国際競争力あるスタートアップの創出と高い社会的インパクト実現を目指している。

海外でスタートアップの創出に携わった経験を持つ人材の知見を活用し、我が国の社会状況に最適化されたカタパルトであるMedLeapの組織設計および運用体制のブラッシュアップを逐次行う。4年間で発明届、特許出願、国際会議発表、国際共著論文、試作成果、実証成果を計画的に実施する。事業化では大学発スタートアップの創出、外部資金獲得を指標とし、メンター体制や起業支援講座を確立し、継続的に運用する。倫理審査、輸出管理、情報セキュリティの各体制を整備し、知財・契約・事業化支援を横断的に行う。

我が国は、南海トラフ巨大地震・首都直下地震・高潮・広域氾濫など、**複合・重畳災害時代**に入っている。従来の統計型被害想定では対応に限界があり、都市全体を対象とした**物理シミュレーション基盤**の構築が国家課題となっている。本事業は、都市丸ごとの防災デジタルツインを自動構築し、地震・高潮・洪水・重畳災害を統合的に評価する国家プロジェクトである。

神戸大学の次世代防災学中核拠点形成を牽引する都市スケール防災デジタルツイン基盤

防災デジタルツイン自動構築システム

- 国土交通データプラットフォーム等のデータ統合
- 地盤・建物・港湾・橋梁・道路を自動モデル化
- 物理シミュレーション入力モデルを自動生成

次世代型防災情報の自動生成・SaaS提供

- 確率ハザードマップ
- ダイナミックハザードマップ (メタバース連携)
- 地震×高潮×洪水の重畳ハザードマップ

高詳細デジタルツイン

- 100万自由度超の並列FEM
- 地盤×RC連成非線形解析
- SARデータ連携による即時被害把握

都市丸ごとのシミュレーション技術研究組合
全国ゼネコン・コンサルが参画
データ統合変換技術の開発 (DPP)
産学連携コンソーシアム



神戸大学 都市安全研究センター・工学研究科
研究開発・社会実装・データ連携の中核



研究と実装の両ヘッドを担う中核拠点



大成建設株式会社
高詳細デジタルツイン
大規模並列FEM高度化
原子力重要構造物への適用

政策意思決定基盤

実務意思決定支援

経営意思決定高度化

投資・市場意思決定支援

国家レベル

国土交通DPF連携基盤の高度化
重畳災害評価基盤
緊急輸送路閉塞リスク評価
国土強靱化の意思決定支援

地方自治体

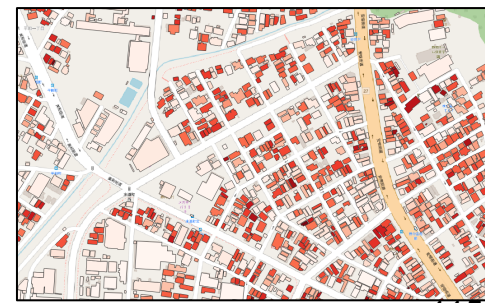
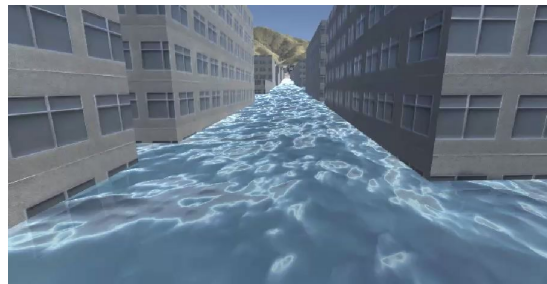
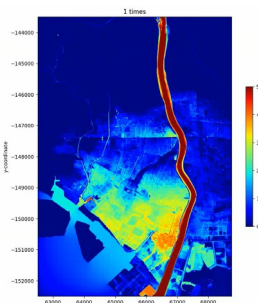
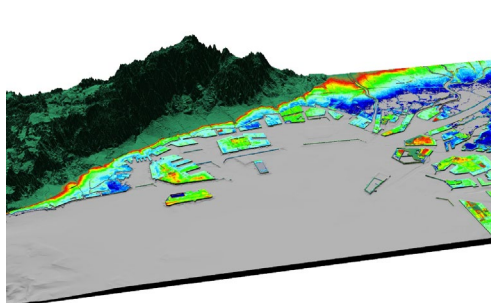
流域DT (加古川モデル・兵庫県)
港湾DT (神戸港モデル・神戸市)
災害訓練・可視化活用
SaaS型防災情報基盤の提供

インフラ企業

高詳細DTによる迅速復旧判断
被害箇所抽出自動化
供用再開判断の高度化
資産管理・投資の最適化

民間企業・新規市場

BCP高度化支援
サプライチェーン耐災害評価
ESG投資・非財務リスク評価
保険・金融分野への展開



2030年までのロードマップ

中期計画期間		第4期					第5期	
年度		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028～2030年度
		知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点として進化・発展						
①	世界トップクラスの卓越した研究成果の創出 傑出した研究成果を共創する知の集積	<ul style="list-style-type: none"> ■ Top10%論文：1200報（累計） ■ 国際共著論文：5000報（累計） ■ Web of Science収録論文：14000報（累計） ■ 科研費獲得額／研究者：750万円（累計） ■ 科研費採択件数／研究者：3.6件（累計） ■ 若手研究者共同・受託研究参画件数：250件（第4期終了時） ■ クロアポ教員：120人（延べ） ■ SDGs関連プログラム：16件（第4期終了時） 					<ul style="list-style-type: none"> ◆ 基礎研究の深化 ◆ 異分野共創の推進 ◆ 社会実装 	
②	地域から地球規模に至る社会課題の解決 異分野共創による新領域研究の創出 ：SDGs、カーボンニュートラル							
③	異分野共創研究により未来社会に向けた新たな課題を解決							
④	学術研究からイノベーション成果の社会実装までの環境整備、組織的に共創推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大学発ベンチャー新規起業：30社（累計） ■ 共同・受託研究数：1,700件（第4期終了時） ■ 共同・受託研究費：60億円（第4期終了時） ■ 企業共著論文数：550報（累計） ■ 外部資金：160億円（第4期終了時） 						
⑤	国際的なプレゼンスを有す優秀な若手研究者を育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 博士学生研究専念型フェローシップ：110人（平均） ■ 博士学生中長期インターシップ：20人（第4期終了時） ■ 若手教員比率：24%（第4期終了時） 						